

平成28年8月17日  
スポーツ振興課

## 「北九州市スポーツ振興計画（改訂版）」（素案）に対する 市民意見等提出手続きの実施結果

1. 実施期間 平成28年6月1日（水）～6月24日（金）

2. 意見提出状況 44件

F A X	18	メール	20	郵便	4	持参	2
-------	----	-----	----	----	---	----	---

3. 提出された意見の内訳

項 目	件 数
(1) 主に計画全般に対する意見	7
(2) 主に「政策Ⅰ. 生涯・競技スポーツの普及・振興」に対する意見	13
(3) 主に「政策Ⅱ. 学校体育等の連携・充実」に対する意見	1
(4) 主に「政策Ⅲ. スポーツによるまちの活性化」に対する意見	12
(5) 主に「政策Ⅳ. 指導者の育成と有効活用」に対する意見	2
(6) 主に「政策Ⅴ. スポーツ環境・基盤の整備」に対する意見	7
(7) その他の意見	2

4. 計画(案)への反映結果

項 目	件 数
(1) 素案に掲載済、すでに実施中、今後実施・検討予定	33
(2) 素案に追加・修正あり	2
(3) 素案に追加・修正なし	7
(4) その他	2

5. 日本オリンピック委員会(JOC)とのパートナー都市協定締結に向けた意見

- (1) キャンプ地誘致や文化プログラム、国際交流等、様々な分野における事業の推進。
- (2) オリンピック・パラリンピック等教育の積極的な推進。

「北九州市スポーツ振興計画(改訂版)」素案に対する意見と市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</li> <li>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</li> <li>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</li> <li>4 その他意見</li> </ol>	<p>【意見の反映結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画に掲載済み又は計画期間中に実施・検討予定</li> <li>2 追加・修正あり</li> <li>3 追加・修正なし</li> <li>4 その他</li> </ol>
---	--

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
<b>計画全般に関するもの</b>				
1	北九州市では、この計画に基づいて色々なスポーツに関することが進んでいることが良く理解できた。計画書には、グラフや写真などの資料も掲載されており、とてもわかりやすい構成になっていると思う。	今後、計画を着実に推進していくことで、市民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じた元気なまちづくりに取り組んいきたいと考えています。	1	1
2	北九州市がスポーツ振興について、決め細やかな施策を考えてくださることに感謝している。		1	1
3	主な取組事業がわかりやすくすばらしい内容だった。		1	1
4	目標数値が定められていて、非常にイメージしやすい計画であった。		1	1
5	昨年の2月から検討されており、この改訂版(素案)の作成まで、長い期間をかけて丁寧につくられていることがわかった。		1	1
6	素案について、賛成である。早く決定し、計画を実行して欲しい。		1	1
7	計画の進行管理をよろしく願います。	本計画に基づく施策や事業の進捗状況の評価等については、本市の附属機関である「北九州市スポーツ推進審議会」において、毎年度、確認・点検を行い、着実に推進してまいります。	2	1
<b>政策Ⅰ 生涯・競技スポーツの普及・振興</b>				
8	オリンピックに関連したイベントは、子どもを対象にしたものが多いように思うが、中高年の者も参加できるイベント企画を希望する。	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツの振興等を図るためには、市民全体の機運醸成が大切だと考えています。今後、オリンピック、パラリンピックに関連したイベント実施の際には、多世代の皆さんが参画できる事業を企画いたします。	2	1
9	地元オリンピック等のセカンドキャリアの設計、地域への活用などの視野に入れた取組が必要。	夢・スポーツ振興事業において平成26年度よりオリンピック選手や優秀な選手を育成した指導者等によるスポーツ教室・強化講習会等を実施しています。また、平成28年度は本市ゆかりのオリンピック選手を学校部活動等に派遣して、ジュニア世代の競技力向上を図るトップアスリート派遣事業を始めました。今後も地元ゆかりのアスリートが活躍できる場の創出に取り組んでまいります。	2	1
10	北九州市は多くのオリンピック選手を輩出している。そうした選手を活用する場合、オリンピック開催年だけといった一過性のものでなく、恒常的に活用することで、地元で活躍の場を創出できるような取組が大切。		2	1
11	総合型地域スポーツクラブの浸透や広がりを見せていない。そのため、総合型地域スポーツクラブが放課後児童クラブ等への活動を行ったり、専門学校・大学生を活用して、面白いプログラムを実施することなどが必要ではないか。	総合型地域スポーツクラブを活性化していくためには、ご提案のように活動の場を広げていくことも重要であると考えています。新規事業の実施には、指導者の確保・育成および実施体制の整備等、課題もあり、今後、各クラブとも連携しながら、様々なプログラムの実施について協議・研究してまいります。	2	1

「北九州市スポーツ振興計画(改訂版)」素案に対する意見と市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</li> <li>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</li> <li>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</li> <li>4 その他意見</li> </ol>	<p>【意見の反映結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画に掲載済み又は計画期間中に実施・検討予定</li> <li>2 追加・修正あり</li> <li>3 追加・修正なし</li> <li>4 その他</li> </ol>
---	--

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
12	輪投げは、安全でお金がかからず、北九州市発祥(戸畑区)のスポーツである。輪投げを、北九州市をPRする最大のスポーツにしてはどうか。	輪投げは、ニュースポーツの一つとして、特に戸畑区で盛んに取り組まれています。「本市をPRする最大のスポーツ」として発展させるためには、市全体の競技人口の拡大等が必要であり、あらゆる機会をとらえて普及に向けた取り組みに協力してまいります。	2	3
13	市民参加型の「北九州マラソン」が定着し、市民のひとりとして大変うれしく、来年は参加したいと思っている。	今後もランナーにとって安全、快適で、皆様に喜ばれ、更に高い評価が得られるような大会づくりに取り組んでまいりますので、ぜひご参加ください。	1	3
14	北九州マラソンに参加したいと考えているが、初心者向けの教室を多く企画して欲しい。	北九州マラソンでは、ランニングクリニックやトークイベント等を開催しており、普段マラソンに馴染みのない方が走り始めるきっかけになればと考えています。初心者の方も楽しめるイベントを企画していますので、ぜひご参加ください。	2	1
15	北九州マラソンは、競技種目として「車いす競技」がない。身近のマラソン大会に車いす競技が入れば、市民の方に障害者スポーツの意義などが理解してもらえる良い機会だと思う。	障害のある方々でも北九州マラソンに参加できるようにすることは、重要な視点であると考えています。一方、車いすでの参加に関しては、走行に必要な道路幅の確保や下り坂、急カーブなど安全確保に向けた様々な課題があります。今後、他都市の状況や関係団体等の意見を伺いながら、検討してまいります。	2	1
16	東京パラリンピックの開催に向け、障害者スポーツの高まりが予想される。障害者スポーツの所管を保健福祉局ではなく、市民文化スポーツにしてはどうか。	2020年東京パラリンピック競技大会の開催決定により、市民の障害者スポーツに関する関心も非常に高まっています。障害者スポーツを含め、更なる本市のスポーツ振興を図っていくために、最も効果的な組織体制について、今後検討してまいります。	2	1
17	自治体において、障がい者スポーツと一般スポーツを一本化する組織設計が求められる。		2	1
18	p.12に『障害者スポーツの拠点として、「北九州市障害者スポーツセンター(アレアス)」を設置し、年間18.6万人が利用しています』との記載があるが、アレアスは一般の方の利用も可能で、むしろ障害のある方の利用は低い。障害者スポーツの現状としては、障害者のみの利用人数を記載すべきである。	北九州市障害者スポーツセンターは、主には「障害者の体力増強及び残存機能の維持、向上」を設置目的としていますが、同時に、すべての市民も利用できる施設となっているため、障害のある方への理解を深める貴重な場となっています。共生のまちづくりを進める本市としては、今後も、障害者スポーツセンターの現状を表す数値として、障害のある方、ない方どちらも合わせた合算の数値を年間利用者として掲載していきたいと考えています。	3	3
19	障害者スポーツセンターは、一般の方が利用できない障害者専用日を設けているが、障害者の拠点施設として専用日の増等の見直しがされると、多くの障害者の方が利用しやすくなると思う。	施設利用者の意見も踏まえながら、障害のある方が、より利用しやすくなる方法を検討していきます。	2	1
20	ふうせんバレーボールは北九州市発祥のスポーツで、障害の有無関わらずだれもが楽しめる競技であり、もっと普及すべきと考える。普及・振興に向けて、今後新たに計画していることがあれば教えて欲しい。	現在本市では、ふうせんバレーボールの体験教室を民間団体と共同開催しているほか、各種大会の開催PR、「北九州市長杯 小学生ふうせんバレーボール大会」の開催、競技ルール等を分かりやすく解説したパンフレットの作成・配布等の普及活動を行っています。今後も関係団体と密接な連携を図りながら、競技の普及・振興へ向けたさらなる取組みを進めていきます。	2	3

「北九州市スポーツ振興計画(改訂版)」素案に対する意見と市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</li> <li>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</li> <li>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</li> <li>4 その他意見</li> </ol>	<p>【意見の反映結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画に掲載済み又は計画期間中に実施・検討予定</li> <li>2 追加・修正あり</li> <li>3 追加・修正なし</li> <li>4 その他</li> </ol>
---	--

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
<b>政策Ⅱ 学校体育等の連携・充実</b>				
21	政策Ⅱ「学校体育等の連携・充実」は、スポーツ振興策の基本中の基本である。運動が不得手な子どもが教育次第で出来るようになると前向きな心が芽生え、やる気もでき、他のことにも積極性を持つことが生まれる。「スポーツより勉強」という大人の考え、偏った意見を耳にするが、精神面ではとても大切なことがスポーツにはあると思う。	ご意見の通り、運動やスポーツには身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できます。また、ルールやマナーに関する合意を形成することや適切な人間関係を築くこともできます。このことから、国語や算数・数学等と同様に、運動やスポーツが好きな児童生徒の育成に向けて、学校体育の一層の充実を図ってまいります。	2	3
<b>政策Ⅲ スポーツによるまちの活性化</b>				
22	ラグビーワールドカップ2019日本大会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、キャンプ地誘致に向け、積極的な活動をお願いしたい。	本市では、ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致に向け、平成26年7月に官民一体となった「北九州市大規模国際大会等誘致委員会」を設立するなど、積極的な活動を行っています。	1	1
23	オリンピックは東京のことだと思っていたが、北九州市がキャンプ地誘致に力を入れていることを知った。誘致が成功すればオリンピック・パラリンピックが身近な大会になり、また北九州市のPRにつながるため、是非成功させて欲しい。	キャンプ地の誘致により世界のトップレベルの選手等を受け入れることは、本市のスポーツ振興のみならず、まちのにぎわいづくりや国際交流にもつながります。	1	1
24	オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致にぜひとも頑張ってもらいたい。半世紀に1度しか開催国に出来ない大会で、少しでもオリンピック・パラリンピックに携わりたいと考えている人は少なくないと思う。北九州市でもこの大会を感じられるような取組に期待している。	また、キャンプ地誘致を一過性のイベントとするのではなく、継続性のある取組みとし、地域のグローバル化、活性化、観光振興等につなげるため、国のホストタウン制度などを活用し、	1	1
25	東京オリンピック終了後も一過性で終わらない計画や活動が重要である。	様々な交流を行うこととしています。	2	1
26	パラリンピックの開催を楽しみにしている。パラリンピックに向けて新たな取組・計画はないのか。北九州市から代表選手が一人でも多く出るとは、その後の北九州市の障害者スポーツの発展に大きく寄与することになる。	北九州市スポーツ振興計画(改訂版)の中の基本施策の1つとして「オリンピック・パラリンピック等への協力・参画を契機としたスポーツの振興」を掲げ、パラリンピックを契機とした障害者スポーツの振興にも取り組みます。 また、夢・スポーツ振興事業では、国際大会等で活躍する選手を育成するため、選手強化事業においてアーチェリー、卓球、バレーボールの種目で障害者スポーツの選手強化にも取り組んでいます。 今後も障害者スポーツの発展に向けて努力して参ります。	2	1
27	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレーのコースを北九州市に誘致し、オリンピック・パラリンピックの機運を盛り上げてはいかがか。	聖火リレーのコースになれば、沿道は多くの人でにぎわい、聖火ランナーだけでなく、見物した方々にとっても生涯の大きな思い出となり、シビックプライドの醸成や機運の盛り上げに繋がるのが期待されます。 本市としても、JOC(日本オリンピック委員会)とパートナー協定を締結するなど、関係機関と連携を図りながら、誘致活動に全力で取り組むとともに、 ご意見を踏まえ、「第2章 スポーツを取り巻く現状と課題」や「基本施策Ⅲ-2 オリンピック・パラリンピックへの協力・参画を契機としたスポーツの振興」で「聖火リレー」という文言を追加します。	2	2

「北九州市スポーツ振興計画(改訂版)」素案に対する意見と市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</li> <li>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</li> <li>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</li> <li>4 その他意見</li> </ol>	<p>【意見の反映結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画に掲載済み又は計画期間中に実施・検討予定</li> <li>2 追加・修正あり</li> <li>3 追加・修正なし</li> <li>4 その他</li> </ol>
---	--

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
28	子どもの頃から国際的・全国的なスポーツ大会などを見学する機会を充実して欲しい。	一流のスポーツを観戦する機会の拡大は、スポーツ振興を図る上でも重要であり、平成27年度から順次組織体制も強化しつつ、大規模国際大会等の誘致を進めています。 今後とも、市民のスポーツ観戦の機会拡大に向けて、積極的な誘致活動を展開してまいります。	2	1
29	北九州スタジアムが完成した際には、満員の観客の中、一体感のあるスポーツ観戦がしたいと思っている。スタジアムが満員となるような試合を開催して欲しい。	北九州スタジアムでは、「みる」スポーツの機会を提供するため、積極的に国際大会・全国大会等、スタジアムが満員となるような大会誘致に取り組み、スポーツで都心部に人が集い、にぎわいあふれるまちの創出を目指してまいります。	2	1
30	北九州スタジアムは、サッカー競技だけでなく様々な競技やイベントの誘致を希望する。	北九州スタジアムはサッカー以外に、ラグビーやグラウンドゴルフ、まちのにぎわいを生み出すコンサートやイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できるよう取り組んでまいります。	2	1
31	「北九州スタジアム」の活用について、少しでも多くの市民が利用したり、訪れたりできるよう、様々な機会(民間主体のイベントでの活用等)を設けてもらいたい。	多くの市民・団体の皆様に、スタジアムを盛り上げるため設立した「北九州スタジアム応援団」において、スタジアムを活用したイベントの企画・提案を現在募集しているところです。今後も様々な機会を設けることができるよう努めてまいります。	2	1
32	ギラヴァンツ北九州の選手がもっと地域のイベント等に参加して知名度を上げて欲しい。	ギラヴァンツ北九州がまちのシンボルとして、市民に愛され、愛着をもっていただけるよう北九州市としても支援してまいります。	2	1
33	「観戦招待事業の対象は子ども(親子)や障害者などに限定してよいのではないか。」「無料」でないと見にくいのではないかと、市民がお金を出して高レベルのスポーツ等の試合を観に行く「スポーツ観戦の文化」の定着につなげていけばと思う。	競技レベルの高いプロスポーツ等の試合の観戦は、その臨場感等を直接肌で感じることができ、観戦者に夢や感動を与えるとともに、スポーツへの関心や意欲を高めます。 本計画において、スポーツ観戦率(40%以上)を目標に掲げており、「みるスポーツ」の振興を図るため、観戦のきっかけづくりとして広く市民に対し招待事業を実施してまいりたいと考えています。	2	1
<b>政策Ⅳ 指導者の養成と有効活用</b>				
34	オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地が誘致されれば、ボランティアとして参加したい。早めのボランティア育成・養成が誘致の成功につながると思う。	キャンプ地誘致を実現するためには、ボランティアの活躍が不可欠です。ご指摘のとおり、ボランティア育成に速やかに取り組んでまいります。	2	1
35	スポーツ推進員の高齢化が進んでいるため、担い手の確保が必要ではないか。	スポーツ推進委員は、各校区まちづくり協議会からの推薦により選出されており、地域のスポーツ振興を図る上で重要な役割を果たしていただいています。 今後、地域の担い手として、関係機関との連携を図りながら幅広い人材育成に努めてまいります。	2	1



「北九州市スポーツ振興計画(改訂版)」素案に対する意見と市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</li> <li>2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見</li> <li>3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見</li> <li>4 その他意見</li> </ol>	<p>【意見の反映結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画に掲載済み又は計画期間中に実施・検討予定</li> <li>2 追加・修正あり</li> <li>3 追加・修正なし</li> <li>4 その他</li> </ol>
---	--

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
<b>政策V スポーツ施設・情報基盤の整備</b>				
36	北九州市内の施設は老朽化が進んでいるので、浅生スポーツセンターのように複数の古い施設を廃止して、新しい複合的な施設整備を進めて欲しい。	ご指摘のとおり、老朽化した施設の更新にあたっては、利用状況や稼働率などを考慮し、複数の施設を集約化・多機能化するなど利便性の向上に努める必要があります。施設の更新時期を迎えた際は、広く利用者のご意見を伺いながら、複合化も含めた施設整備を進めたいと考えています。	1	1
37	小さな子どもを抱えた親のために「授乳スペース」や「オムツ替えスペース」などの充実を図るべきではないか。老朽化した施設が多く、抜本的な施設改修は難しいと思われるが、指定管理者の工夫によりホスピタリティの向上を図っていくことで、誰もが利用しやすい施設となるのではないかと。	施設の利用状況や利用者の要望等も勘案しながら、「授乳スペース」・「オムツ替えスペース」の設置など、より市民の皆様が利用しやすい施設となるよう努めていきたいと考えています。	2	3
38	平成28年4月から施行された「障害者差別解消法」は、「不当な差別的取り扱いをすること」及び「合理的配慮を行わないこと」を禁止している。障害者に対して、差別的取り扱いをしないことはもちろんのこと、ソフト面及びハード面での「合理的配慮」について、市民みんなが楽しく、安心して使用できる施設となるよう、施策の検討及び推進をお願いする。	本市では、これまで、障害のある方も施設を気軽に利用できるよう、スロープの設置や多目的トイレの設置など様々な整備を進めてきました。今後とも、幅広い市民の方々及安全で安心して利用できるようハード面やソフト面の観点から施策に取り組んでまいります。	2	1
39	地域では多くの高齢者が卓球やバドミントン等で利用しており、高齢者の健康寿命を延ばすため、従来の小さな体育館が必要である。そのため、今後新しく出来る体育館では、一度に多種類の競技が出来るよう、各コート仕切りの仕切りネットを設置して欲しい。また、体育館でどのスポーツも使用できるように採配できる有能な職員を配置して欲しい。	昨年度から、一定規模を超える体育館については、仕切りネットを設置して、半面で異なる競技が行えるよう利用者の利便性の向上に努めてきたところです。今後、整備する体育館においても同様に、広く利用者の声を伺いながら、施設の職員配置を含め、より良い環境で利用しやすいように努めていきたいと考えています。	2	1
40	パソコンやスマートフォン等からスポーツ施設の利用予約や空き状況の確認が出来る「公共施設予約・案内システム」を知らなかった。非常に便利な仕組みなのでもっと周知して欲しい。	現在、市のホームページに掲載していますが、今後は各施設における広報(施設窓口及び指定管理者ホームページなどの活用)も検討し、さらなる周知に努めていきたいと考えています。	2	1
41	市内のスポーツ施設がどこにあるかが分かる地図を入れていただければわかりやすいと思う。	ご意見を踏まえ、市内スポーツ施設の分布図を添付いたします。	2	2
42	新たに出来る施設については、駐車料金を安くして欲しい。	公共施設マネジメント実行計画に基づき駐車場の有料化を検討しています。料金については、近隣の有料駐車場の実態や施設利用者の滞在時間なども総合的に考慮したうえで、設定していきたいと考えています。	2	3

「北九州市スポーツ振興計画(改訂版)」素案に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み又は計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
その他				
43	北九州スタジアムには、都市ブランドの向上や新たなファン層の開拓に対する期待がこめられている。来年から本拠地となる「ギラヴァンツ北九州」では、昨年サポーターが掲げた横断幕に「ぶちくらせ！北九州」の表現が不適切としてクラブから注意を受けたことがあった。一部のサポーターとはいえ、不適切な表現、対戦相手の選手・サポーターに罵声を浴びせる行為は、来場者、特に子どもや女性の観戦気分を悪くするもので、放置してはならない。クラブと市が連携して、快適で安全・安心な観戦環境の創出に努めて欲しい。	新たな本拠地「北九州スタジアム」で多くの市民が気持ちよくギラヴァンツ北九州を応援できる環境づくりは、都市のにぎわいづくりを進めるためにも、大変重要であると考えています。今後とも、クラブの取組みをしっかりと支え、快適な観戦環境の創出に努めて参りたいと思っています。	4	4
44	競馬、競輪、競艇の公営ギャンブル場を「スポーツ観戦施設」として認定しているならば、「ギャンブル依存症」対策に取り組んで欲しい。	競馬、競輪、競艇のギャンブル場はスポーツ施設ではありません。「ギャンブル依存症」対策への取組については、関係局にご意見をお伝えします。	4	4